

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

3 月号

2026
vol.716

P 03-06

特集 高校生との「対話」が会員企業にも火をつけた
大牟田支部での『インタビューシップ』

P 10-11

「企業変革プログラム勉強会」開催レポート
—社員と見つける新たな気づきで、企業変革へ—

P 07-09 21世紀型自立型企业づくり

全社一丸の経営! 障害者雇用の悩みを全力サポート

株式会社タガイト

代表取締役 **金光 孝男** 氏(南支部)



福岡県中小企業家同友会
月刊同友の
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



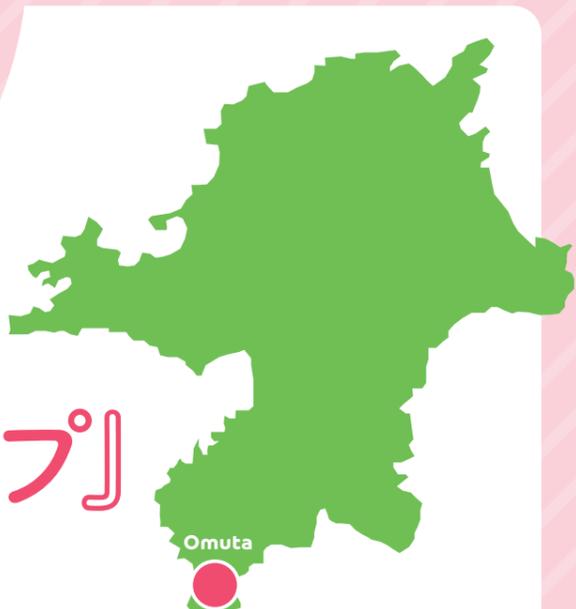
福岡県中小企業家同友会

高校生との「対話」が

会員企業にも火をつけた

大牟田支部での『インタビューシップ』

文・写真:柿元 千徳(りょうちく支部)



インタビューシップとは?を語る畠本副支部長

精巧印刷株式会社の工場現場はインクの匂いと印刷機の轟音が響く、男性スタッフ100%の「ものづくり」の最前線です。そこに飛び込んだのは、ありあけ新世高校のNさん。彼女の将来の夢は「国語の先生」でした。そんな彼女が、代表の平田晋也氏に投げかけた「ど直球」の質問が、平田氏の背筋を正させました。「働くって面白いですか?」「何のために働いているんですか?」。平田氏は、アルバイト経験しかない高校生が抱く「労働時間の切り売り」という固定観念を壊すため、自身の職業観をこう伝えます。

「時給」ではなく「価値」を売る

福岡同友会では2023年度より北九州地区が「インタビューシップ」を開始し、今回、大牟田支部でも取り組みが始まりました。「働くのは生活のため」「仕事は大変そうで、あまり期待していない」。そんな冷めた職業観を持つ若者は少なくありません。しかしインタビューシップは、そんな彼らの先入観を鮮やかに塗り替え、さらには受け入れた側の大人たちの「働く意識」にまで火をつけています。インタビューシップは、単なる職場見学や作業体験ではありません。山形大学の松坂教授が提唱する「共に育つ(共育型)」プログラムであり、生徒が働く大人の影のように寄り添う「ジョブシャドウイング」と、本質を突く「対話」を軸に据えています。大牟田の地で、15、16歳の瞳に映った大人の姿は、どのような奇跡を起こしたのでしょ

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

同友会 3つの目的

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

株式会社タガイ

代表取締役 ^{かねみつ たかお} 金光 孝男 氏 (南支部)



私が金光 孝男さんをご紹介します!

株式会社朝日酸素商会
代表取締役副社長

杉谷 知範
(南支部)



南支部の「アニキ」と金光さんは、皆から慕われ、愛され、支部長も経験され、人柄も素晴らしい上にゴルフもプロ並みに上手いという、たまに嫉妬したくなるような人物です。そんな金光さんは、おじい様が創業された事業を若くして引き継ぎ、社内改革や新規事業への取り組みを行ってきました。その道のりは決して平坦ではなかったとお聞きしています。でも持ち前の明るさで乗り切り、今は弟さんやお子さんも

事業に関わっています。「アニキ」は今、新しく福祉に取り組み、就労移行支援事業や放課後等デイサービス、また障害者雇用相談援助事業等を行っています。そこでは「一人ひとりの違いを、未来への可能性に」という想いのもと、誰もが自分らしく輝ける社会づくりを目指しています。「アニキ」が皆から愛されるように、今度は課題を抱える皆さんが「社会から愛される」機会づくりをしていく未来、今後が楽しみで仕方ありません。

現場からひとこと



株式会社タガイのディーキャリアITエキスパート福岡大濠オフィスを訪問しました。ここはIT・Web専門職を目指す方たち向けの就労移行支援事業所です。この日も熱心に取り組まれている利用者さんたちがいらっしゃいました。今回は後継者候補の相馬さんにも同席いただき、福祉事業部統括責任者として、業界全体や現場のことも伺うことができました。

撮影・文/同友会事務局 長尾裕美

詳しくは7ページ「21世紀型自立型企业づくり」へ!

大人の本気が生徒の価値観を変える



ありあけ新世高校 重松先生

います。自分が提供するデザインや、正確に納期を守る責任が「価値」に変わる。その気づきは、彼女の目を輝かせました。自らデザインしたピンク色の名刺には、好きなポケモンやフルート、そして「社会の役に立ちたい」という新たな決意が刻まれました。大人の本気が、一人の生徒の「働く怖さ」を「未来の自分への投資」へと変えた瞬間でした。

リサイクル工場の現場で起きた「親への感謝」

「アルバイトってというのは時間を売っているんだよ。社員になると君の価値に対して会社は対価を払うんです。」

この言葉を聞いた瞬間、彼女は「わあっ!」と思わず声を上げて驚いたと

株式会社九州バイオテックの有働氏が語ったのは、「感動のエピソード」です。木材リサイクルの過酷な現場で、働く大人たちへのインタビューを終えた女子生徒が、突然その場で涙を流し始めました。

「やってしまった。警察のお世話になるかもしれない」。そう焦る有働氏



生徒さんが作成した発表パネル

てくれたんだ」。

に対し、彼女は涙の理由をか細く語りました。彼女の両親も自営業で、これまでは仕事に没頭する親との間に距離を感じていたといいます。しかし、重機を操り、地域を守るために汗を流す大人たちの姿を間近に見たことで、彼女の心の中で大きな変化が起きた様です。

「自分の親も、こうして必死に働

働く大人の背中、言葉以上に物語りです。仕事とは、ただお金を稼ぐ手段ではなく、大切な人を守り、誰かに手を差し伸べるための尊い行為である、と。リサイクルという地味で力強い現場で、一人の高校生が「親への尊敬」を取り戻したこの瞬間こそ、インタビューが持つ「人間教育」としての取り組みの本質と言えるのでは

ないでしょうか？

市役所が発見した組織成長のヒント

今回の活動では、会員企業に留まらず大牟田市役所をも動かししました。行政として初の参加となった市役所で



久保田氏(ユー自動車)の報告をする生徒さん

は、初日の最初のインタビュー相手が市長という、生徒にとっても組織にとっても緊張感あふれる幕開けとなりました。

一方、市役所の職員たちも、高校生という「純粋な鏡」を前に、自らの仕事を再定義する壁に突き当たります。

「市民協働」や「産業振興」といった当たり前に使っている専門用語は、15歳には届きません。以下内容を部署内で検討し、改善することとなりました。

- 本質の抽出…業務内容を「高校生活の出来事」に例えて説明する。
- 若手の再教育…20代や30代の若手職員が、自分たちの仕事の意義を「伝わる言葉」で練り直す過程で、自身のモチベーションが劇的に向上。
- 鏡としての学生…「なぜこの仕事をしているのか」という根源的な問いに答えることで、大人が自らの使命を磨き直す「ミラー効果」が発

生。

市役所という巨大な組織が、高校生視点を通すことで、内側から活性化していく。インタビューシッは、大人にとっても「カッコいい大人」であり続けるための、真剣勝負の舞台となったようです。

地元の「知らない会社」が「憧れの場所」に変わるまで

ありあけ新世高校の重松先生が報告したアンケート結果には、生徒たちの劇的な意識変化が綴られていました。

- 1 職業選択の幅の拡大 「公務員か事務職くらいしか知らなかった」という生徒たちが、地元の高度な技術や志を持つ中小企業に触れて、「大牟田で、この会社で働きたい」と公言するまでに。都会志向だった視野が、地元地域の価値へと向けられました。

地域全体での取り組みへ

今年度の特徴として、大牟田市役所

お金のためではなく、誰かのために働く



株式会社タガイ
代表取締役
南支部
金光 孝男 氏

取材=広報情報委員会 文=菅原弘(東支部) 写真=長尾裕美(事務局)

全社一丸の経営！

障害者雇用の悩みを

全力サポート

三代目社長に就任して、業態を大きく変えた金光孝男さん。経営理念を見つめ直します。



利用者さんに向けた
ビジネスマナーの講義風景

業態を変える

今回の取材は、就労移行支援を中心に、就労定着支援や就労選択支援事業、相談支援事業所、放課後等デイサービスを運営する、障害者雇用相談援助認定事業者・㈱タガイの代表、金光孝男さんです。

まず、会社の沿革そして、金光さんの生い立ちをお聞きました。

金光さんは昭和42(1967)年に北九州市戸畑で生まれます。もともと祖父が昭和30(1955)年、地域の人が集う娯楽事業を創業し、多店舗展開していました。昭和63(1988)年に母親が承継します。

金光さんは大学に進み、企業に就職予定でした。「バブルがはじける前で、数社の就職先が内定していましたが」と振り返ります。しかし祖父が病気になるに母親から帰ってくるように促され、就職を断念して家業

同友会に入会

平成9(1997)年、敷地内に地下鉄七隈線の拡張工事の話がでてきました。業態変更を考えていた金光さんは、情報を収集しビジネスホテルにする決断をしました。移行には3年ほどかかりました。その後宿泊客を紹介してくれたのが、博多人形の後藤フサエさんでした。

さらに「経営の勉強会がありますよ」と同友会に誘われ入会をします。平成14(2002)年のことです。

当時は「あすなる塾」「経営指針書作成セミナー」の体制がまだ整っておらず、前身の「志賀島セミナー」が終了したころでした。南支部には「ここ掘れワンワンシー

の参加により、民間企業だけでなく行政も巻き込んだ地域の活動へと成長した点が挙げられます。昨年の「まずはやってみよう」という挑戦の年から、今年は質・量ともに向上した取り組みとなりました。

インタビューシップがもたらす「三方よし」

インタビューシップは、学生のキャリア形成支援、地域活性化、企業の成長と変化という「三方よし」を目指す取り組みです。今回の報告からは、このことが確実に実現されていることが確認されました。



イオンモール大牟田での発表会には大牟田市長も来場し、多くの市民でにぎわいました

生徒は働く意義を深く考え、将来の目標を見つけろきつけを得ました。受け入れた企業・行政側は学生からの率直な質問を通じて自組織を見つめ直し、社員や職員の成長を促す機会となりました。そして地域は、若い世代が地元企業の魅力を知り、地域への愛着を深めることで、将来を支える人材育成の土壌をきつと築いています。

インタビューシップは「単なる職場体験ではなく、学生と企業、そして地域が対話を通じてお互いに学び合い、共

に成長するための非常に価値あるプログラム」であります。大牟田支部での2年間の実践は、この理念を着実に形にできています。

まとめと今後への期待

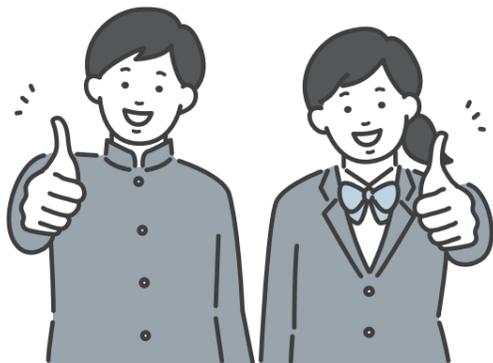
発表会では、インタビューシップの取り組みに参加した会員企業から「学生の視点が新鮮でした」「社員が自身の仕事の意義を再確認できました」といった声が聞かれました。生徒さん側からは「地元の会社を知ることができました」「都会での就職希望でしたが地元に残ることも考えました」という反応があり、確かな手応えが感じられました。

平田氏は、「大牟田の中小企業家同友会にはいっぱい企業がありますので、是非全社回ってらって体験してもらおうが一番いい」と語り、本取り組みの拡大への期待を述べました。

有働氏も「この取り組みをずっと継続していきたい」と語られ、大牟田市役所は「また来年以降もこのような機会をいただければ」と行政としての継

続意欲を示されました。重松先生も「本当にこの取り組みに参加させてもらえて感謝しています」と学校側の思いを伝えられました。

大牟田のインタビューシップは、学生、企業、行政、学校の四者が一体となって地域の未来を育む「共育」の実践活動として、着実に根を張りつつあります。この取り組みが今後さらに発展し、より多くの若者が地域で働く魅力を実感する絶好の機会となりそうです。





後継者として同友会に入会した相馬由佐さん

希望するスタッフには転職せざるを得ないケースも出てきました。それでも10年続けてきたことで、就職先からも好評を得ており、就労支援施設A型・B型、クリニックなど

就労移行支援事業
デイキャリアのテキスト



ト塾」というワンシートで経営指針を考えるセミナーがあり、そこで経営指針を作成しました。

平成18(2006)年に三代目の社長に就任します。平成20(2008)年にリーマンショックとなり、ホテルは大打撃を被りました。なんとか従業員を辞めさせることもなく、ピンチを切り抜けました。平成23(2011)年には東日本

大震災が発生します。リーマン以上に大打撃を受けることとなりました。この2つのピンチで金光さんは本格的に業態を変えようと考えたようになりました。

発達障害者の施設

飲食や介護など様々な業態を調べていた時に『発達障害』というキーワードが目にとまりました。「心に響くものがありました。こういう仕事があるんだと思いました」と金光さんは言います。

それまであまり触れたことのない言葉でしたが、振り返ってみると最近そういう子どもたちがいるなと思いました。

発達障害とは、生まれつき脳の障害のために言葉の発達が遅い、対人関係をうまく築くことができない、特定分野の勉強が極端に苦手、落ち着きがない、集団生活が苦手などの症状が現れる精神障害の総称です。

や、行政や各機関とのつながりも出てきています。「これらが他社との差別化になっていると感じます」と金光さんは言います。

No.2の存在

今回の取材には後継者候補として相馬由佐さんが同席してくれました。この度同友会にも入会しました。

長年にわたり障害福祉サービス事業所運営の経験から、障害のある方の特性と企業が求める人材像の両方を熟知して、企業のニーズに応じたオーダーメイドの支援を提供しています。県労働局長から認定を受けた障害者雇用相談援助事業を担当しています。「転職を考えて面接した時に、金光さんの考えに心が動き、この人の下で働きたいと思いました。仕事では品質にこだわり、利用者様の就職先を探していきます。ジョブマッチを得意とし

本人はもちろん、その家族がとても困っているという現状を知り、そういう子どもたちの『居場所づくり』がイメージとして浮かんできました。

金光さん自身も小さい頃、学校から帰ると店舗に行くと家の鍵を受け取り、一人で過ごすことが多かったといいます。近所の古本屋に入りびたりになりました。「そこが自分の居場所でしたね」と振り返ります。

そして平成27(2015)年10月、金光さんは『デコボコベース』社とフランチャイズ契約を結び、放課後等デイサービス『ハッピーテラス』をオープンさせました。その後、社名を現在のタガイトに変更します。社名の由来は「お互いの糸が紡ぐしあわせ」という思いを込めた造語です。

改めて経営理念策定

同友会での学びに沿って、

ていきましたが、これからはマネージャーとしても勉強していきます。特に適正でホワイトな運用に心がけていきます」。

金光さんは、「特に経営指針書発表には積極的に運営に努めてくれて、私の方が催促されている感じがすよ」と頼もしく感じています。

コロナ禍の支部長経験

金光さんは2002年同友会に入会以来、常に何らかの役職を任されています。「特に印象的なのは支部長ですね。ちょうどコロナ禍にあたり、リアルでの会議や例会ができない時期でした。そこで悩みを話し合う支部長会は貴重な経験でした」。

今後とも様々な形でこの会に携わり社会に貢献していきたいと考えています。取材の最後に金光さんの考える自立型企业についてお伺いしました。

改めて令和5(2023)年4月に経営理念をバージョンアップさせました。

タガイトは顧客と関係者の幸せと、会社の繁栄を通じて、社員の幸せをめざします。

タガイトは事業を通じて、誰もが受け入れられ活躍できる社会づくりをめざします。

タガイトは人間尊重を通じて、共に学び、成長する風通しの良い職場をめざします。

この中で、「社員の幸せ」とは、全社員が身体的・精神的・社会的・経済的、すべてに満たされた状態を持続することだと説明していただきました。

タガイトのスタッフ

障害者には身体・精神的の3種類ありますが、その中で精神障害の発達障害、それも児童対象に絞りました。「間口を広げると徹底されなくなる

「全社一丸で取り組む会社でしょうか。うちの場合、事業所が市内に3か所あり、社員が一堂に集まるのが経営指針発表会の時だけにあります。そこで一人ずつ発表していくのですが、その時が、『ああ、全社一丸になってこの会社をよくしよう』と取り組んでいるな』と感じる瞬間です。自立型企业に向かっていくなと感じます。やっぱり、企業は『人』だと思っています」と、笑顔で締めたいいただきました。取材協力ありがとうございました。

株式会社タガイト

創業 2015年
住所 福岡市早良区西新3-5-7
サンフロア西新101
電話 092-407-5788
社員数 23名(正社員18名、パート5名)
事業概要 就労移行支援事業所、就労定着支援事業所、相談支援事業所、放課後デイサービス、障害者雇用相談援助事業を運営



金光さんのAction

- 1992年、家業であった娯楽事業の後継者として入社。2002年に同友会に入会。
- 2006年に承継するも、リーマンショックと東日本大震災で事業は大打撃を受け、業態変革を決断。
- 2015年に(株)タガイトを創業し、精神障害分野の支援事業を開始。
- 2023年に経営指針セミナーで理念を見直す。後継者と共に全社一丸の経営に取り組む。



と考えたからです」。「タガイトに就職して人とはとてもいい人ばかりです。障害者のいる家族の相談に乗るため、社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持った人が集まってきました」。

就労移行支援では利用者様の段階に応じて、生活支援(ライフ)、職業訓練(ワーク)、就職支援(ルート)をそれぞれ担当別に対応する施設が多い中で、同社はみんなで見えるようにしています。あたかも縦の糸と横の糸が有効に機能しているようです。

そして向上心旺盛な人が多いと言います。もともと児童を対象としていましたが、やがて大人も対象にしたい、精神障害だけでなく、知的障害、身体障害の分野まで対応したいという職員が増えてきました。それぞれが、利用者様にとって何がベストなのかを考えているのです。分野以外を

企業変革プログラム 勉強会 開催レポート



——社員と見つける新たな気づきで、企業変革へ——

文・写真:鹿田 和正(福友和支部)



報告者の貞兼朋記さん

2025年12月1日、福岡県中小企業振興センター301会議室において、「企業変革支援プログラム＜@n＞勉強会」が開催されました。本勉強会は、人を生かす経営推進本部の主催のもと、「社員と見つける新たな気づきで企業変革へ」をテーマに実施され、会員39名をはじめ、社員・事務局を含む計45名が参加しました。

本勉強会では、企業変革支援プログラム＜@n＞を実際に活用しながら、経営者と社員がどのように

「問題から課題を整理する」 考え方

特に印象的だったのは、「問題」と「課題」は同じではない、という考え方です。

例えば「人手不足」という問題一つを取っても、離職が原因なのか、採用の問題なのか、業務効率の問題なのかによって、取るべき対応は大きく異なります。

問題をそのまま捉えるのではなく、何が本当の課題なのかを整理

し、その認識を社員と共有するところが、経営改善の第一歩であることが説明されました。

優先順位をつければ 無理なく取り組める

また、企業変革支援プログラム＜@n＞(いわゆる「宮城流」)の特徴として、26項目すべてを一度に進めるのではなく、「今年はこの2項目に取り組む」と優先順位を絞り、全社員で実践していく進め方が紹介されました。これにより、無理なく取り組むことができ、継続的な実践につながりやすくなります。

実際に導入後は、社員と経営者の現状認識が徐々に揃い、社員が自主的に課題を捉えるようになり、役職者自身も自己変革に向き合うようになったという変化が報告されました。

りました。短時間のワークではありましたが、「自社の課題が整理できた」「社員と一緒に取り組むイメージが具体的に持てた」といった声が多く聞かれました。

勉強会が プログラム実践の気づきに

アンケートでは、参加者の満足度は非常に高く、「とても良かった」「良かった」と回答した方がほぼ全体を占めました。感想としては、「社員を巻き込む具体的な方法が分かり、実践のハードルが下がりました」「フルスペックでなく、簡易的に始められる点があり、目からウロコでした」「実践に基づいたヒフォー・アフターの話がとても分かりやすかったです」といった声が寄せられました。

運営面についても、「説明が分かりやすかった」「時間配分が良

かった」「座長によるまとめで学びが整理できました」といった評価が寄せられ、学びに集中できる環境が整えられていたことがうかがえます。

一度きりではなく 積み重ねてこそ理解が深まる

本勉強会を通じて改めて共有されたのは、企業変革は一度きりで完結するものではなく、社員と共に学び、対話し、少しずつ積み重

ねていくプロセスであるという点です。企業変革支援プログラム＜@n＞は、そのための実践的なツールであり、同友会ならではの学びの場だからこそ、実体験を通じて理解を深めることができます。

同友会では、このような勉強会や実践の場を通じて、経営者同士が学び合い、刺激を受けながら「良い会社づくり」に取り組んでいます。今回の勉強会は、その一端を体感できる機会となりました。今後も、社員と共に成長し、より良い企業を目指すための学びの場が継続して開催されることが期待されます。



座長を務めた鹿田和正さんによるまとめ



森慎吾福岡地区会長によるワークの進行

ワークでプログラムを体験

後半のワークでは、参加者自身がプログラムの一部を体験しました。自己診断シートへの点数付けや、緊急性・重要性を踏まえた優先順位付けを行うことで、自社の現状を「見える化」する時間とな

1月22日(木)開催
参加した新会員▶23人

NEXT

3月26日 木

ご参加を
お待ちしております。



2025年度 第9回 理事会議事録

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

開催日時 1月28日(水) 13時40分~17時42分
出席数 35名(出席率89.7%)

会場 福岡県中小企業振興センター401会議室
議長 小屋根 雄作

[2026年度方針検討会]

- 2025年度運動総括案の検討
- 2026年度運動方針案の検討、組織図の検討
- 2026年度予算案の検討
- 2026年度増強目標について
- 2026年度活動計画(全国行事・正副及び理事会の日程含め)
- 定期総会にむけて(年間行程)
- 2025年度活動のまとめと2026年度活動方針・計画

[審議事項・協議事項]

1 入退会審査

入会21名、退会25名(うち未収あり退会2名)、休会1名が承認され、1月承認会員数は2,411名となった。

2 「全体構想」について

前回の議論であがった意見を基に「提案その3」と工程表が作成され、承認された。

3 企業づくりより

● 経営指針の作成と実践数字把握
声かけ率、成文化率、実践率いずれもあと2,3%で目標達成のため引き続き各支部での声掛けをお願いしたい。

● 企業変革支援プログラムVer.2登録状況

e.doyuの登録状況は12月で一旦リセットされるが、年度単位で実績を把握すべきと考え、3月末まで継続して登録数をカウントすることとした。12月末時点の登録者は160名、目標達成まであと90名。理事の中にも登録が済んでいない方が見受けられる。まずは理事自らが進んで登録をお願いしたい。以上2点の報告があった。

4 増強本部より

● 年度末の増強の取り組みについて
今年度の増強目標の達成を後押しするため入会申請の締切を3月理事会直前とする。通常のフローに加え、メール等による臨時の支部役員会・地区幹事会で承認を得たものは理事会へ上程できることとする。各期日は、入会手続き完了(入会申込書・口座振替依頼書が事務局に届き、27,000円の入会金まで確認できている状態)を3月19日(木)、支部役員会承認を3月23日(月)、地区幹事会承認を3月24日(火)午前中

とすることが承認された。

5 研修本部より

● 役員研修大学について、会場変更、予算修正、案内チラシが承認された。

6 総務財政室より

● 各支部からの保留案件の精算、F.doyuの稼働停止が承認された。

7 経営者フォーラム実行委員会より

● 2026年度経営者フォーラムについて、分科会6つの設定、例会振替が承認された。

8 県役員選考委員会より

次年度の理事及び県役員の選考について下記の通り提案された。

理事 代表理事 井上 明

理事 支部長 糸島支部 石田 宜之

定款に定めのない県役員 女性部委員長 舌間 陽子

9 会員企業の動き

■ 経営革新計画承認企業

● 2025年12月(県6件/うち同友会会員企業1件)

※累計で福岡県全体では10,145件、会員企業は延べ593件

西日本良友株式会社 福沢 文治 氏(福友愛支部所属)

<テーマ>外国人介護、看護リーダー育成と「フィールドスーパバイザー」派遣モデル

■ 表彰など

● 福岡県知事指定 特産工芸品に!

「久留米綿入れはんでん」

宮田織物株式会社 吉開 ひとみ 氏(福友和支部所属)

■ 報道記事など

● 2025年12月25日 西日本新聞

株式会社リョーフ 田中 裕弓 氏(ひびき支部)

● 2026年1月 6日 西日本新聞

宮田織物株式会社 吉開 ひとみ 氏(福友和支部)

● 2026年1月14日 西日本新聞

株式会社オーガホールディングス 大賀 崇浩 氏(東支部)

福岡地区主催

半年に1回の
自社の経営健康診断
してみませんか!?

参加費
無料

~会社が変わる、社員が変わる、自分が変わる~
企業変革支援プログラム Ver.2 入門勉強会

日時 3.23日 18:30 ~ 20:00

場所 福岡県中小企業振興センター
301会議室
(福岡市博多区吉塚本町9-15)

問題と課題の違いを明確にし、自社の「本当の課題」を見つけ、具体的なアクションに落とし込む力を一緒に身につけていきましょう。

お申込み・お問合せ

(一般社団法人)福岡県中小企業家同友会 福岡地区
TEL.092-686-1234 FAX.092-686-1230
www.fukuoka.doyu.jp

e-doyuでもお申し込みできます

※各自パソコン持参・テキストをお持ちの方はお持ちください。事前にe-doyuのID・パスワードをご確認してログインできる準備をお願いします

福岡県の最低賃金

1時間 1,057円



福岡県最低賃金は、福岡県内で働くすべての労働者に適用されます。

なお、右記の産業に該当する事業所で働く労働者には、それぞれの「特定最低賃金」が適用されます(但し、適用除外該当者は除きます)。

特定最低賃金	
製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業	1時間 1,176円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1時間 1,137円
輸送用機械器具製造業	1時間 1,147円
百貨店、総合スーパーマーケット	1時間 1,065円
自動車(新車)小売業	1時間 1,131円

必ずチェック! 最低賃金! 最低賃金、中小企業の賃金引上げを支援する業務改善助成金等の情報を掲載しています。

最低賃金のこと詳しくはこちら

https://saiteichingin.mhlw.go.jp/



最低賃金に関するお問い合わせは福岡労働局又は最寄りの労働基準監督署へ



役員研修部

7 土 第30期役員研修大学
9:00~17:50

メイン会場:リファレンス駅東ビル2階
福岡市博多区博多駅東1-16-14
☎0120-46-0058
北九州サテライト会場:TIMESKY
北九州市八幡西区熊手2丁目3-27
JTSビル2F
☎093-616-1331
筑豊サテライト会場:飯塚研究開発センター
飯塚市川津680-41
☎0948-21-1150
県南サテライト会場:ホテルセキア
熊本県玉名郡南関町関村1556
☎0968-69-6111
学びをより深く!より適切に!
中小企業家として、同友会運動の役員として、地域から信頼される経営者として

経営労働委員会

9 月 第33期経営指針作成
セミナー

18:30~20:30
福岡県中小企業振興センター301
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F
☎092-686-1234
指針発表会

12 木 ひびき支部3月例会

18:30~21:00
コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3
☎093-641-9360
会社の未来を守るために
リョーワが決断した変革とその裏側
■田中 裕弓氏
株式会社リョーワ 代表取締役
(ひびき支部)

企業連携推進委員会

13 金 FAST3月例会

18:20~20:30
福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
シンデレラ戦略実践セミナー
営業戦略
■深見 信吾氏
深見経営株式会社 代表取締役
(東支部)

同友すばる委員会

14 土 事業承継塾 第6講

14:00~17:00
電気ビル本館地下2階7号会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82
☎0120-222-084
事業承継時の保険の活用
■渡木 繁氏
有限会社コスモライフ相談役
(福友和支部)
■筏 依子氏
有限会社コスモライフ
代表取締役社長(福友和支部)

16 月 有明支部3月例会

18:30~20:30
筑邦銀行柳川支店
柳川市三橋町高畑197
☎0944-72-2131
行事検討会

17 火 福友和支部3月例会

18:20~21:00
アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
経営指針書で掲げた目標に向けて、
やり抜く経営者の考え方と姿勢
■竹谷 聖氏
占部大観堂製菓株式会社 取締役
(東支部)

17 火 北九州支部3月例会

18:30~21:00
北九州市立商工貿易会館多目的ホール
北九州市小倉北区古船場町1-35
☎093-541-2184
同友会で触れる入門編!助成金・
補助金を活用するために
■河邊 浩之氏
河邊社会保険労務士事務所 代表者
(北九州支部)
■中川 照将氏
株式会社アフットプラスワン 代表取締役
(北九州支部)
他体験報告者数名

17 火 博多支部3月例会

18:30~21:00
天神ビル11号会議室
福岡市中央区天神2-12-1-11階
☎0120-323-920
つながる・広がる・動き出す
博多支部自社PR発表会

17 火 玄海支部3月例会

18:30~21:00
天神ビル9号会議室
福岡市中央区天神2-12-1
☎0120-323-920
経営者のための健康習慣
今、知るべき健康知識
■中園 由紀子氏
キマクラブ代表(会外)

17 火 糸島支部3月例会

18:30~21:00
波多江コミュニティセンターはたえ館
糸島市池田216番地1
☎092-322-1614
自社の社会的・使命・
社会・社長・社員が成長を実感できることが仕事
■岩崎 龍太郎氏
ATUホールディングス株式会社
代表取締役(福博支部)

17 火 大牟田支部3月例会

19:00~21:00
アウレア1階
大牟田市有明町1-1-22
☎0944-32-9767
(仮)経営指針書に基づいた経営計画
~10年前の自社と現在、そして10年後~
■金森 信吾氏
有限会社バンド・ミー 代表取締役
(大牟田支部)

18 水 東支部3月例会

17:00~19:00
ホテルクリオコート博多
福岡市博多区博多駅中央街5番3号
☎092-472-1111
経営者が「正解」を手放した時、
組織はどう変わるか。
価値観の多様性を組織の推進力にする
「彩 令和の大改革」
■林田 選氏
株式会社彩一いろいろ 代表取締役
(東支部)

18 水 西支部3月例会

18:30~21:15
レストランひらまつ博多
福岡市博多区下川端町3-1博多リバレイ2F
☎092-263-6231
西支部50周年例会
■末竹 哲氏
有限会社日研 取締役会長(西支部)

18 水 かすや支部3月例会

18:30~21:00
同友会全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡
県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
信頼が導く感動 ~心を動かす仕
事の本質~(仮)
■安河内 正幸氏
安河内建設株式会社 代表取締役(かすや支部)

18 水 田川支部3月例会

18:30~21:00
田川青少年文化ホール研修室
田川市平松町3-36
☎0947-44-6470
指示待ち組織から自立型組織へ
経営者の関わり方で、組織の未来は変わる!
■西田 英司氏
株式会社カルベ・ディエム 代表取締役
(福博支部)

18 水 青年支部3月例会

19:00~21:00
アクア博多
福岡市博多区中洲5-3-8
☎092-263-4770
ブレインゲーマネージャーからビジョ
ンを描く経営者へ
~人に任せ、育て、支え合う組織・仕組みづくり~
■林 直輝氏
輝翔法律事務所 所長(福博支部)

19 木 のおがた支部3月例会

18:30~21:00
ユメニティのおがた
直方市山部364-4
☎0949-85-1007
決断力と未来を切り開く力
~経営規模35倍になったワケ~
■須藤 司氏
農業人 代表者(のおがた支部)

19 木 福博支部3月例会

18:00~20:30
天神チクモビル大ホール
福岡市中央区天神3-10-27
☎092-715-3250
「人を生かす経営」の実践報告
ボスからリーダーに変わった壮絶な戦い
■福田 裕聡氏
株式会社スミリオン代表取締役
(南支部)

19 木 筑紫支部3月例会

18:00~19:50
大観荘
筑紫野市湯町1丁目12?1
☎092-922-3236
事業承継
■久保田 満穂氏
合同会社アイエスクリエイト代表社員
(筑紫支部)

19 木 中央支部3月例会

18:20~20:45
アクア博多
福岡市博多区中洲5丁目3-8
☎092-733-1310
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
感覚経営から永続的な黒字経営
への転換
経営指針書の作成と実践がもたらす効果
■山田 祐也氏
株式会社山田コーポレーション
代表取締役社長(福友愛支部)

19 木 福友愛支部3月例会

18:30~21:00
アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
「社員の人生に向き合う経営が、
定着を生む」
~安心して働き続けられる会社とは~
■吉住 征一氏
株式会社リーシングサポート
代表取締役(福友愛支部)

19 木 久留米支部3月例会

18:30~20:45
ハynesホテル久留米
久留米市天神町1-6
☎0942-32-7211
改正労働基準法を知ろう
■隈 啓介氏
充寛労務管理事務所 後継者
(久留米支部)

23 月 飯塚支部・りょうちく支部
3月合同例会

18:30~21:00
パドドゥル・コトブキ
飯塚市片島1丁目7-62
☎0948-22-5138
私の履歴書
同友会のトップランナーが語る、中小企業が
生き残るための覚悟と戦略
■鶴田 和寿氏
コースイ株式会社 取締役会長
(飯塚支部)

24 火 南支部3月例会

18:30~20:50
アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」
(ZoomミーティングID等は別途連絡)
一人経営からの脱却
そこで見つけた覚悟
■吉田 純子氏
司法書士法人すずらん 代表司法書士
(南支部)

フォローアップ部会

26 木 新会員フォローアップ
セミナー

18:00~21:00
福岡県中小企業振興センター303
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F
☎092-686-1234

訂正とお詫び

月刊同友No.715(2月号)の12-13p「福友支部設立
40周年記念式典」の掲載内容に誤りがありました。
(誤)文・写真 牛島 智絵(福友愛支部)
(正)文・写真 牛島 加代(福友和支部)
訂正してお詫びいたします。(広報情報委員会)



月刊
同友

3
月号

2026
vol.716

会員
トピックス

IT部会年末恒例の 「未来予測」例会

文・写真：(株)ファインドカラー・エクス 山口 恵子(中央支部)



昨年の発表内容を精査して、優秀者を決めます。ほぼその通りになっています



発表者からも笑いが

12月24日、スクラムソフトウェア事務所会議室にて、IT部会恒例「未来予想忘年会」を開催しました。参加者は16名。部会長挨拶と乾杯のあと、まずは前年の未来予想を振り返り、参加者全員で最優秀賞を選出しました。

「お掃除ロボットができる／Web制作の仕事の半分はAIでやっている」←私の予想が選ばれました。

続いて2026年の未来予想発表では、AIやIT技術の進化、経済・社会情勢の変化、自社の展望や個人の挑戦など、多様なテーマが次々と登場！！正解を競うというよりは、自由な発想で語り合うことで新たな視点や刺激が生まれ、会話も大いに盛り上がりました。

オードブルやケーキ、手作り料理を持ち込んで囲みながら、ITが苦手な方でも楽しめる「学び」と「交流」を両立した、IT部会らしい年末例会となりました。



皆さん聞き入っています



三好美貴さん(東支部)の発表



今回表彰された山口恵子さん(中央支部)の発表

2026年3月1日発行（毎月1回・1日発行）

福岡同友会 |

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 3月31日(火)

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。

よろしければQRコードからアンケートにお答えください。(所要時間 4分)



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366